



期日	令和5年9月4日（月）	時間	19:00～20:00	場所	坂井木部コミュニティセンター
参加者	坂井木部地区／8人 …地区区長会、まちづくり協議会役員、PTA、各種団体				
	坂井市／8人 …市長、副市長、教育長、総務部長、総合政策部長、建設部長、生活環境部長				

参加者からの意見・提案等

Q. 夏の暑い時期、中学生だと水筒を3本は持って登校します。学校に冷水サーバーや自動販売機を設置してもらえますか。

Q. オンデマンド交通の利便性をもっと高めてほしいです。

Q. 木部地区の地域防災計画を作りたいと思っています。防災マップをつくりながら機運を高めながら、地域特性を踏まえ、何をどう整理していくか考え中です。まとまったら市へ相談するので支援をお願いします。

Q. 農業の今後、後継者への不安に関して、農業も防災と同様、自分の農地は自分で守ることが基本なのでしょうか。法人化や広域的な営農組織で解決できないのでしょうか。

Q. 防災避難訓練を、福井震災の日にあわせて6月28日にはどうでしょうか。

市からの返答

A. 検討します。

⇒冷水機には、水道直結式とタンク式があります。直結式では十分に冷えず水道水と変わりませんし、タンク式では水の補充や水質検査が必要になります。冷水機を導入したとしても、行列ができて、休み時間中に児童生徒が利用しきれない状況も予想されます。今のところ、学校に設置の要望はないので、状況を見たいと思います。

A. オンデマンド型交通の停留所については、地域のご要望に応じ、増設や移設の対応をしているところです。仕組みの改善は、事業者との調整が必要な側面もあり、ご要望いただく改善点すべてに対応することは難しいのが現状です。バス改編による人流の変化を観察し、事前予約時間を短くする件については、可能であれば新年度より実施したいと考えています。

A. 災害時には、自分でできる備え（自助）、地域でできる備え（共助）、行政の役割（公助）の3つが大事です。地域防災計画作成は防災士の会の協力もいただけるし、市も応援します。

A. 皆さんが進めたい農業のあり方を、ぜひ、市にご相談ください。

⇒令和6年度末までに地域の農業のあり方を定める地域計画を集落単位で策定する必要があって、その過程で市や農業委員も参画し、集落での話し合いを行います。地域の課題として集落から提起があれば、計画に盛り込むよう誘導します。

A. より多くの市民に参加いただきたいと思います。市自治会連合会にも協議したいと思います。